

# 現業・公企統一闘争速報10/18号

## 現業・公企統一闘争第2次闘争 自治体現場力の回復をめざし 人員確保にむけ交渉の強化を

現業・公企統一闘争の第2次闘争の全国統一行動を翌日に控えた10月17日、11県本部61単組が闘争を展開した。ヤマ場当日では、7県本部及び自治労本部は単組の交渉を支援するため、交渉終了まで待機態勢を配置した。

18日、午前0時を最後に全ての単組の交渉が終了した。

本日時点での取り組み状況は、36県本部357単組が要求書を提出し、34県本部246単組が今後、要求書を提出する予定。

また交渉状況では、17日までに25県本部154単組が既に交渉を実施し、34県本部336単組が今後、交渉実施を予定している。



新潟県職員労働組合（新潟）

(写真) 腕章を巻き団結し、粘り強く交渉する交渉メンバー

### 現場の声を反映した職場環境の改善を

本日のヤマ場での交渉をはじめ、昨日までに交渉を実施した単組では、欠員補充や新規採用を勝ち取った報告がされている。また、採用には至らなかったものの、新規採用にむけ、前向きな回答を引き出すなど、各単組では粘り強い交渉を進めている。

2024闘争方針では、「再公営化」を明記している。人件費や物価の高騰や災害時の対応などを踏まえ、費用対効果や行政サービスの質などについて民間委託と比較し、直営の優位性が見受けられるため、民間委託導入後に課題が生じている際は、直営に戻す取り組みが求められている。

あわせて、本年4月より61歳の常勤職員が配置されているため、誰もが働き続けることができる職場環境・業務内容にむけた取り組みが重要である。

現場課題を解決するためには、要求書を提出し、交渉を積み重ね、納得する回答を当局から引き出す以外にないことを再確認し、統一闘争への結集が重要である。

2024闘争では、人員確保をはじめ、多くの成果について、各単組から報告がされた。

引き続き、2024現業・公企統一闘争にすべての単組、組合員が結集し、取り組みを強化しよう。



八王子市職員組合（東京）

(写真) 現場課題を訴え、前進回答を引き出す



府中市職員労働組合（広島）

### すべての単組での取り組みにむけ ~手引きや動画の活用を~

(右) 手引きの概要版を作成

①



②



- ①現業職員が配置されている単組用
- ②現業職員が配置されていない単組用

【2024現業・公企統一闘争のスローガン】  
「笑顔が集う地域をめざし、自治体現場力による質の高い公共サービスの確立」

市民が安全で安心な生活に必要な公共サービスを提供するため、人員確保を中心とした課題解決に向けた取り組み強化。あわせて地域実情に応じた質の高い公共サービスの提供体制の維持・拡充にも取り組む。

【闘争スケジュール】

	第1次闘争	第2次闘争
職場点検・職場オラゲ	2月～4月	-
職場行進・要求書作成	4月19日～5月21日	-
東京集結ゾーン	5月21日～6月6日	9月24日～10月4日
住友アビールゾーン	2月～5月	9月2日～10月4日
労官指定単組日	6月7日	10月4日
交渉強化ゾーン	6月7日～6月20日	10月4日～10月17日
全国統一闘争基準日	6月21日	10月18日
協約締結強化月間	7月	11月

評議会独自で取り組むことが困難な場合は、単組と連携して取り組むことが重要である。  
（評議会が対応できない事項を理由に要求書を提出しないことがいふ取り組む）

現業労働者に保障されている労働二権（団結権・団体交渉権）を最大限活用し、単組一体となって取り組みをすすめることが重要である。人員確保をはじめ、現場課題を解決することにより、私たちの暮らしが、「地域実情に応じた質の高い公共サービス」の提供へと繋がります。

【統一闘争とは】  
労働交渉を機会に、単組を超えて、全国的な闘争を推進し、全国の労働者を結集し、交渉をすすめることとなります。

全ての単組で共通目標を掲げ、その達成に向け、一歩に交渉すること、近隣単組の強固な連携、全国的な闘争をけん引し、交渉をすすめることが重要です。

先行して目標達成した単組情報は本誌や単組によって有利な材料となります。